



甲斐市立玉幡小学校 令和2年度 学校だより 第6号

チーム玉幡

令和2年6月4日
学校長 丸茂和也

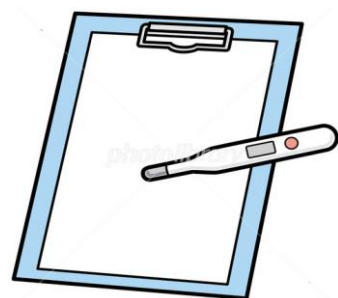
この大切な時を続けるために～学校再開によせて～

5月24日(日)に入学式が無事に行われました。保護者の皆様には様々なご理解とご協力いただき改めて御礼申し上げます。また翌日25日(月)には、新任式、1学期の始業式をテレビ放送で行いました。児童会長の真瀬詩音さんのあいさつ、新しい先生方の紹介はすべて暗記で、話し方もとても立派でした。

子供たちや先生たち全員が集う玉幡小学校、これはどれほど幸せなことであるか、また有り難いことであるか、今回の休業を通して改めて思い知ることとなりました。近くの人と距離を空けたり、そばで話をすることを避けたり、換気をしたりするなど3密を避ける。暑いけれどマスクを着用する、これらは今までにない、一見きゅうくつな慣れないことではあります。しかしこれらの新しい生活様式は、ただ我慢する、やらされるという気持ちではなくて、みんなでいられる今この時を続けていくために必要なことと考えています。

今子供たちや教職員が、みんなでいっしょに毎日を創っていく、みんなでいっしょに過ごせる時間は当たり前じゃない、だからこそ今この時を、一瞬一瞬を大切に、一日一日を積み重ねていきたいと感じています。

先日のメールでもお願いをしましたが、保護者の方には、健康観察表での日々の検温と健康観察の記入をお願いします。検温や健康観察の記入がないものが見受けられます。この観察表は何より大切な健康チェックのよりどころです。お手数をおかけしますが、保護者の方による確認、記入を確実にお願いします。



そして子供たちにとっては、友だちや先生と過ごせる日々を一日でも長く積み重ねていくために、自分の幸せのために前向きに取り組む、という思いで取り組んでもらえればと思います。学校でも全力で予防に取り組み、日々の教育活動を大切にしていきます。毎日の健康観察や健康管理、教育活動へのご協力を改めて感謝します。これからもよろしくお願いたします。



入学式、いい返事ができました。

テレビ始業式、みんな元気で健康で

トイレなど先生たちで掃除をしています。

あいさつは、心をつなぐまほうだよ～児童会の取り組み～

6月1日（月）より、児童会役員のみなさんが校門であいさつの呼びかけをしてくれています。あいさつには、さまざまな効用があると言われています。その中でも、人と人の心をつなぐ、絆を深めることができることが大きな特徴で、魔法のことばとも言われます。



学校が始まって気持ちよいあいさつが見られます。ソーシャルディスタンスという物理的な距離を人と人がとらなければならない現在の状況ですが、あいさつを通して心と心の距離は縮めたいと感じます。児童会役員のみなさんの笑顔での呼びかけや温かい表情、それに笑顔で返してくれる子供たちの様子を見ると、あいさつっていいな、人と人のつながりってやっぱりすてきな、と感じています。

温かなお心がここにも～校舎東門南に～

学校の教育活動は、子供たちを人間性豊かに育てるという目標に向かって行われています。それは学校だけではなく、保護者の皆様、地域の方々、その他多くの皆様との連携協働があることで成り立っています。校舎東門の南側に、色とりどりの花々がきれいに咲いています。これは昨年度の卒業生久住さんのおばあさまが、土作りから行い、日々の手入れをしていただいています。花を見ると、人は心が和み、リラックスすると言われています。私は、そういった気持ちに加え、与えられた場所で精一杯自分の命を燃やしている草花をととてもたくましいと感じ、自分も力をもらうことができます。子供たちを見守り、成長を応援してくださる温かな心がここにもあります。

